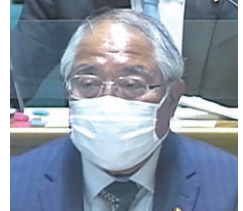


QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

日本共産党
議員団
大井 正**デジタル業務の標準化にあたって個人情報保護を**

Q 政府の「デジタル化指針」によれば、本人同意を前提としつつも、個人情報の連携・集約・利活用の促進をするところがあるが、個人情報保護は何を根拠にどのような担保されるのか伺う。

条例に基づき個人情報保護を適正に取り扱っている

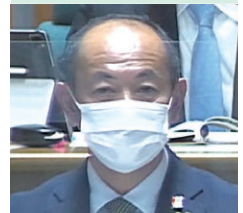
A 掛川市は、「掛川市個人情報保護条例」に基づき、取得した個人情報を利用する際の市民の負担軽減や取扱いの効率化を図るため、保有する個人情報を市役所内部で利用すること、あるいは市役所以外に提供を行うことを認めるための規定を設けています。また、違反した場合の罰則を整備するなどし、保有する個人情報の適正な取扱いと、その実効性を担保しています。

各種専門職の採用と熟練職員の育成を

Q デジタル化を推進するならば各セクションから専門的で正確なデータが出される必要がある。各分野の専門職や熟練職員を採用・育成すべきと考えるが所見を伺う。

多様な人材を採用し新たな成長を支援していく

A DXなど新たな課題や多様な・複雑化する行政課題に対応するためには、専門性を持った人材も必要だと認識しています。職員採用においては、DXに関連する職種を含め、順次専門職種を増やすなど、多様な人材の採用を実践しているところです。また、育成面においては、実務経験を積み、新たな成長を支援できるような制度やしぐみの充実を図っています。

新しい風
松浦昌巳**観光客へ心を込めた「おもてなし」を**

Q 宿泊やレジャーで掛川市に来て頂いた観光客に対し、感謝の意を込めて、「おもてなし」が必要と考えるが見解を伺う。

より居心地良くお迎えできる環境・体制づくりを進める

A 市内外を問わず観光客の皆様様に、お客様の視点に立ち、より必要な情報の提供を心掛け、「おもてなし」の精神での対応に努めています。また、市内の観光ボランティアガイドの皆さんの御協力をいただき、引き続き、お客様を温かいおもてなしで迎えするとともに、今後はさらに、掛川市を選んでお越しただいた感謝の意を込めて、より居心地良くお迎えできる環境・体制づくりを進めていきます。

食を通して子どもたちに環境教育を

Q 子どもたちにとって身近な給食の食べ残し（食品ロス）を、教育の場で環境と結びつけていくべきと考えるが見解を伺う。

**様々な場面で食と環境をつなげて学んでいる**

A 食と環境をつなげて学ぶことは大切であり、様々な場面で取り組んでいます。例えば、栄養教諭が各校の学級活動において「給食の大切さ」について授業を行っています。小学校や中学校の家庭科でも学習しています。今後も身近な生活の中にある課題を取り上げながら、自分たちにできることを考えたり、家庭へ啓発したりしていきます。

【その他の質問事項】

・松ヶ岡の活用方法について